



大阪錦画新話 第八号



横濱野毛町四丁目
 髪結職鈴木藤松が昔猫が子を
 三足産ちてて死すりかして獸好
 みて洋大の雌も飼くふ明治八年
 五月のころ此大も子を産くふ墜人
 りりて早く子を譲りて親大の乳汁たれてやまざるを
 孤猫みちてがい益夜養育をあらば家内店のお客迄も
 不思議な傍へ下れば子猫をもらうやと洋大の乳つる程ゆありた
 宜ふ全国兄弟の塾より貴族官員が平民を輕蔑する大ふだも鹿猿可なりんぞ

日日新ぶん十三号
 五号の出す



新話錦画

阿波文

